

令和3年度 第1回大泉町総合教育会議 議事録

- 1 日 時 令和3年12月14日（火）午後1時30分から午後1時57分まで
- 2 出席者 [会議構成委員] 村山町長、柴崎教育長、高倉教育長職務代理者、
福田教育委員、秩父教育委員、大塚教育委員
[事務局] 千吉良教育管理課長、竹田教育指導課長、金井こども課長、
村田生涯学習課長、後藤教育総務係長

3 傍聴者 なし

4 会議日程

- (1) 開会
- (2) 町長あいさつ
- (3) 教育長あいさつ
- (4) 協議事項
大泉町教育大綱（案）について
- (5) その他
- (6) 閉会

5 会議内容

(1) 開会

進行（千吉良教育管理課長） ただいまより令和3年度第1回大泉町総合教育会議を開会いたします。なお、石川教育部長におかれましては、急用により本日欠席でございます。かわりに、教育管理課長の千吉良が進行を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

それでは次第に沿って進めてまいりたいと存じます。はじめに、村山町長からごあいさつをお願いします。

(2) 町長あいさつ

村山町長 本日はお忙しい中、総合教育会議にお集まりいただき、ありがとうございます。既に委員の皆様もご存知のとおりでございますが、12月7日、下校途中の児童が、包丁を持った見知らぬ男に襲われるという事件が発生しました。翌日には、教育長と教育部長をはじめとして、再度、児童生徒また園児等をしっかり見守る、また、有事の際の対処方法をしっかりと学ぶために、既に大泉町警察署に依頼をし、危機管理についての講習会を実施する予定になっております。今年是不意に起こる犯罪が多かったと感じておりますので、今後町内のすべての園児・児童・生徒が安全に安心して登下校ができるよう、登下校時の巡回を強化するとともに、有事の際には役場職員、教師また保育園関係者については対応できるよう知識として学んでいただきたいと思います。

また、国の子育て世帯への臨時特別給付金については、今月23日に、対象世帯へ10万円を振り込みできるよう調整を進めております。仕事が減った、またできなくなったひとり親家庭や、ローンを抱えている子育て世帯の方々も、極めて厳しいと思っております。

本町としましては、他の自治体が実施する前には振込できるよう進めております。

さて、本日の議題であります「教育大綱」は、総合計画を上位計画として整合を図りながら、特に教育分野全般にわたる諸施策の方針となります。現在、次期総合計画も策定中であり、基本構想の修正において、ICTの積極的な導入などを追加していく予定です。

教育面では、既に、国のGIGAスクール構想により、ICT環境を整備充実し、1人1台配備の情報端末を授業や分散登校時などで、効果的に活用しており、このICT環境を更に幅広く活用していく工夫、検討も必要と考えます。

今後も、委員皆様からのご意見、ご提言を拝聴し、保護者や地域との連携を緊密に図りながら、本町の教育行政に取り組んでまいります。

結びに、年の瀬を迎え、お忙しいとは存じますが、ご自愛いただき、また、本日の会議が有意義なものとなるよう、重ねてお願い申し上げます、あいさつとさせていただきます。

進行（千吉良教育管理課長） ありがとうございます。続きまして柴崎教育長よりごあいさつをお願いいたします。

（3）教育長あいさつ

柴崎教育長 本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。今回、教育大綱を、情勢に即して見直していくということでございます。教育大綱の方針に「夢とやさしさをもって、生き生きと学ぶまち」とありますが、このテーマをもとに今日まで進めてまいりました。教育・芸術・文化を総合的に捉える根本的な部分で素晴らしい方針だと感じています。ただ、この2年間、コロナウイルスの感染防止対策を考える中で、なかなか思うように進められなかったという部分もありますが、その中でも、子どもの心のケア及び不登校への支援、並びにICT環境の整備という面においては、町長からの支援もいただきながら進めることができたと感じております。先日も、東部教育事務所から、本町の取り組みについて評価をいただいたところでございます。今後、より住民の生涯教育に寄り添える形を模索しながら進めていきたいと考えております。

本日は委員の皆様からご指導をいただきながら、教育大綱の方針・方向性を確認し、より充実したものにしていきたいと思っております。

進行（千吉良教育管理課長） ありがとうございます。続きまして、4協議事項でございますが、大泉町総合教育会議運営要綱により、町長が会議の議長となりますが、慣例により事務局の方で進行させていただきます。

（4）協議事項

進行（千吉良教育管理課長）

それでは、4協議事項（1）大泉町教育大綱（案）について、説明をお願いいたします。

後藤教育総務係長 はい。

進行（千吉良教育管理課長） 後藤教育総務係長。

後藤教育総務係長 お世話になります。教育管理課 教育総務係長の後藤です。よろしく
お願いいたします。それでは、次期 大泉町教育大綱（案）について、お手元の配布資料に
基づき、説明させていただきます。

まずはじめに、資料1 大泉町教育大綱（案）の概要をご覧いただきたいと存じます。次
期教育大綱の策定方針などについて、4つの項目にまとめさせていただきました。

上から順に、大綱策定の法的根拠について、次に大綱において定める内容について、次
に大綱の構成について、最後に大綱の計画期間についてでございます。本教育大綱は、本
町の総合計画を上位計画とし、その基本構想及び基本目標を引用する形で構成し、また、
総合計画との整合を図るため、2022年度から2025年度の4年間を計画期間とするものでござ
います。

次に、資料下段でございますが、左図の教育大綱にて定められた基本方針や基本目標に
基づき、右図に記載の教育行政方針の中で、具体的な取組施策や事業についての方針を定め、
点検・評価を行いながら、各種施策を推進していくものでございます。

それでは、次に 資料2 大泉町教育大綱（案）をご覧ください。

まず、1ページをお願いいたします。「第1 基本的な考え方」といたしまして、大綱策
定の趣旨、大綱の位置付け、大綱の期間を記載しております。総合計画において基本構想
の計画期間は無期ですが、実施計画については2022年度から4年間となっておりますので、
この実施計画の見直しにあわせ教育大綱も見直していきたいと考えております。

続きまして、2ページをお願いいたします。「第2 大綱の基本方針」ですが、「夢とやさ
しさをもって、生き生きと学ぶまち」を目指し、記載の内容を基本方針とします。

各項目の右側に、※印の赤字表記部分がございますが、現在策定中の総合計画からの引
用部分を明記しております。

なお、総合計画基本構想において、生涯学習部分を含む6つの基本目標について、この
たびの新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、今後のニューノーマル社会を意識した
内容への修正、また、ICTの積極活用による、DX、デジタルトランスフォーメーショ
ンの考え方を推進することとされておりますので、文言説明を追記いたしました。

次に、「第3 大綱の基本目標」につきましては、「1 子育て支援の充実」から4ページ
の「8 文化財の保存と活用」までの8つの施策を基本目標といたします。これら基本方針
及び基本目標とも総合計画からの抜粋となっております。

次に、「第4 今後の取組」ですが、教育大綱では、基本的な目標について定めておりま
すので、具体的な取組などについては、教育委員会にて教育行政方針を別途作成し、点検
・評価を行うなど検証を行いながら、各種施策や各事業等を推進してまいりたいと考えて
おります。

以上で、次期教育大綱（案）の説明とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

進行（千吉良教育管理課長） 説明が終わりましたが、次期教育大綱については、現在
策定中の総合計画から抜粋して構成されております。

具体的な取組などは、今後、教育行政方針を策定していく中で、教育委員の皆様からご
意見をいただけたらと思います。次期教育大綱（案）につきまして、ご意見・ご質問等が
あればお願いいたします。

福田教育委員 はい。

進行（千吉良教育管理課長） 福田委員さんお願いします。

福田教育委員 先日の教育委員会議の中でもお話ししましたが、基本目標3の教育環境の充実の中で、不登校への対策とありますが、不登校の中学生だけでも40人程度いる現状において、それを解決するための具体的な取り組みを教育行政方針の中で打ち出していく必要があると思います。現在でも不登校対策として、適応指導教室、スマイル教室、チャレンジ教室、わくわく広場等様々な教室があるが、それらを一元化し責任者を明確にするとともに、教育研究所もうまく活用して、一丸となって取り組んでいけたら良いと考えます。

千吉良教育管理課長 ただ今の福田委員さんからのご意見についてでございますが、現在、教育行政方針令和4年度版を策定中でございます。ただ今の不登校に関する諸案件につきましては、次期教育行政方針において、一つの項目として策定を検討しております。以上でございます。

進行（千吉良教育管理課長） 他にございますでしょうか。町長さんからは何かございますか。

村山町長 今マスコミなどでも学ぶスタイルの多様性を認めてという考え方もありますが、町長宛にも陳情が挙がっているという現状もある中で、幅広い考え方を盛り込んだ方が良いと考えます。

学校へ無理に行くことが、その子の精神的負担になり、不登校から引きこもりへ、また大きな事件につながるといった現状も昨今ある中で、きめ細かい手法を新たに考え、一つの枠に入れられないやり方を考えていく必要があると考えます。学校としての対応と家庭との連携など、大泉町の子ども一人ひとりを大切にする方策を検討して行ってほしいと思います。

また、民間の協力というところで、先日、適応指導教室の子どもたちと遠足に行きましたが、そういった時に、快く協力を名乗り出してくれる民間の企業等もあるわけで、バスを提供してくれる、資金援助を申し出てくれる等、そういった民間のアイデアや協力を取り入れていっても良いのではないのでしょうか。

進行（千吉良教育管理課長） 福田委員さんからのご意見及び村山町長からのご意見を頂戴したところでございます。教育行政方針におきまして、より具体的にわかりやすい施策として、個別に提示していけるよう検討してまいります。

他にございますでしょうか。

それでは、この案を次期教育大綱とすることよろしいでしょうか。

全員 はい。

進行（千吉良教育管理課長） それでは、この大綱（案）を次期教育大綱とさせていただき、本会議の議事録及び新教育大綱につきましては、公表に向けて所要の事務を進めてまいります。

（5）その他

進行（千吉良教育管理課長） 5 その他ですが、事務局からは特にございませぬ。委員の皆様から何かございますでしょうか。

大塚教育委員 教育大綱や教育行政方針とは別の話ですが、不登校への取り組みについて、学校とスマイル教室やあゆみ教室等、別々のもの同士の連携が足りていないと感じています。

例えば、子どもの不登校に直面したとき、あゆみ教室の存在を知らない保護者に、担任の先生からも提案がないなど、不登校に対して学校として積極的に取り組んでいるということを、保護者として感じられなかった気がします。そういったことは残念だし、体制を変えていかないといけないのではないかと思います。

村山町長 過日実施した子育て会議においても、発展的な意見よりも、現状感じている課題についての意見が多かったことは、住民に対して親切さ・丁寧さが足りないということではないかと思います。

大塚教育委員 冒頭のあいさつの中で柴崎教育長がおっしゃた不登校児童生徒への支援として、評価できた点はどのようなことでしょうか。

柴崎教育長 スマイル教室やあゆみ教室等について広報活動を積極的に行ったり、ICTを活用して、子どもたちとオンラインで交流を図ったりしている点です。

大塚教育委員 広報・周知というところでは、紙を配ったことで周知ということで終わりではないと考えます。

柴崎教育長 そのことについてはそのとおりでと思います。

大塚教育委員 今回私が感じたことは、特定の教員ということではなく、教員全般に広く言えることではないかと感じています。同じ教室でも、ことばの教室では、通室につながるよう積極的に対応されている様子が見られますが、あゆみ教室についてはあまり積極的に情報提供をいただけない状態だと感じています。

子どもと教室を取り次ぐサポーターのような存在を置いた方が良いのではないのでしょうか。

村山町長 教員も職員も自分たちの仕事をすべて知っているのは当然のことで、民間の感覚を取り入れなければならないと思います。一般の人、初めてその状況に陥った人は情報がなければ何もわからないわけで、そういった人にわかりやすく必要な情報を周知し、

説明し納得してもらおうのが私たちの仕事です。いくつもある選択肢とその内容をわかってもらえるようなやり方を進めていく必要があると思います。

柴崎教育長 住民や子どもたちの立場に立ち、対応を徹底していきます。

大塚教育委員 スマイル教室の利用状況について教えてください。

竹田教育指導課長 火曜日・木曜日と週2日間実施しておりますが、来室のない日はありません。多いときは保護者を含めて3名から4名、少なくとも1名来室があり、継続的に支援をしている状況でございます。

大塚教育委員 スマイル教室やあゆみ教室など、実施場所が別だから良いという利点もあるかとは思いますが、一緒にすることによる利点もあるのではないかと考えます。他町では商工会の一室を借りたりして実施しているようですが、本町では教育研究所として1軒所有しているわけですから、他の場所を借りて別々にやるよりも、場所を同じにすることで、連携したり違う教室の様子がよく見え、子どもたちの選択の幅も広がるのではないかと考えます。

柴崎教育長 別にしている理由ですが、家にいた子が人に会わずに外に出られるということで、別の建物に設けています。そういった子どもたちにとっては、外に出られたということが大きな一歩となっています。人と顔を合わせたくないという子がいる状況にあっては、他の子どもたちと一緒にすることで、来なくなってしまうということが考えられます。もちろん職員は相互に連携し、他の教室を紹介するなどの対応を取っています。別の建物となっていることが、現状では子どもたちに合っていると考えています。

大塚教育委員 わかりました。

(6) 閉会

進行（千吉良教育管理課長） よろしいでしょうか。他にございますでしょうか。

それでは、以上をもちまして令和3年度第1回大泉町総合教育会議を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。

上記は、会議の経過（要旨）を記したものであり、これを証するためここに署名します。

大泉町長

大泉町教育委員会教育長